

交換留学（派遣）帰国報告書

.....  
留学先大学： University of Washington  
留学先での所属学部・研究科： Arts & Science  
留学先での在籍身分： Junior  
留学期間： 2015 年 9 月～ 2016 年 6 月  
神戸大学での所属学部・研究科： 経済学部  
学年（出発時）： 3年  
本報告書記入日： 2016 年 6 月 20 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9 月 30 日

学年終了月日： 6 月 10 日

学期：

① 9 月 30 日～ 12 月 18 日

② 1 月 4 日～ 3 月 18 日

③ 3 月 28 日～ 6 月 10 日

④ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日～ \_\_\_ 月 \_\_\_ 日

1-2. 留学先大学の特長，人気のある分野等

Computer Scienceは全米でも屈指の人気・実力を誇る学部であり、post-major形式のUWでは多くの学生がCS majorを目指して高いGPAを獲得するよう努力している

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

なし

勉学面でのサポート：

なし

精神面でのサポート：

なし

住居・生活面でのサポート：

寮の提供

課外活動のサポート：

特になし

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

## 2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

交換留学生としての住居は大学寮もしくは個人でroom shareを探すなどの方法があります。

## 3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

なし

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

キャンパス・寮では通信速度の高いUW生用のwifiが通っているため大変快適に生活出来る

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学でPCは使用できたが、自身の物を用いたので良くわかりません

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

幸い健康に暮らすことができたので病院に行く機会がありませんでした

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

日本とほぼ同じ環境で暮らすことができます

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

留学先では口座を作らずcredit cardを数枚持って行って支払いを行っていた

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

International studentの割合が高く、現地以外の人(特に中国人)と関わる人が多い

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

大学の友達の紹介で関わるがありました

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

特になし

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

安全性はほぼ日本と同じと考えても大丈夫だと思います

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

特になし

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO , 8万 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

先輩方の帰国後報告書

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

基本的にこちらで揃えることができるので特にありません

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL-iBT ) 89 点→帰国後 ( ) 点

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

Vancouverに旅行した時にairbnbを通しての宿泊先が薬物中毒者で話が通じなかったこと。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

十分なサポートを得られたと感じます。留学前はワシントン大学への申請方法等がまとめられた紙が配布され、疑問があればすぐに国際交流課の方々が対応して下さいました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

勧めます。私はワシントン大学に留学して多くのことを得ました。私を最後にワシントン大学との全学部共通での交換留学プログラムが終了してしまいますが、是非再び再開して欲しいと感じます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

留学先大学： University of Washington留学先での所属学部・研究科： Arts & Science留学先での在籍身分： Junior留学期間： 2015 年 9 月～ 2016 年 6 月神戸大学での所属学部・研究科： 経済学部学年（出発時）： 3年本報告書記入日： 2016 年 6 月 20 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	INTERMED MICRO-ECON (ECON 300 E)	SAHA,JAGORI	110 分/週+	5	30	いわゆるミクロ経済学の授業
2	INTERMED MACRO-ECON	MULLEN,RO RY	110 分/週+	5	15	いわゆるマクロ経済の授業
3	MARKETING CONCEPTS (MKTG 301 D)	Hema Yoganarasimhan	110 分/週+	4	75	marketingの基礎の授業
4	CISB SEMINAR (I BUS 491 E)	BHOWMIK,D AVINDER L	110 分/週+	1	20	関連する国ごとに分かれてグループワーク等に取り組む授業
5	ECONOMERICS THEORY AND PRACTICES(ECON482)	Chang-Jim Kim	110 分/週+	5	30	R, STATA等分析ツールの練習に取り組む授業
6	FINANCE, CAPITAL AND INVESTMENTS(ECON422)	Mu-Jeung Yang	110 分/週+	5	30	CAPMなどfinanceの基本を学習する授業
7	INTRODUCTION TO ENTREPRENEURSHIP	John Hansen	110 分/週+	4	40	起業のロールプレイをグループで取り組む授業
8	ADVANCED FINANCIAL ECON	Mu-Jeung Yang	110 分/週+	5	30	start-upを対象に財務分析を行う授業
9	ECONOMETRICS & DATA SCIENCE	Gregory M. Duncan	110 分/週+	5	30	機械学習をRを用いて分析を行う授業
10	STRATEGIC COMMUNICATION	Lee Hochberg	110 分/週+	4	40	プレゼン(5回)、ビジネスメールの書き方を習得する授業

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 16万・住居費：（月額） 11万 ×（留学期間） 10 ヶ月 = 110万・食費：（月額） 5万 ×（留学期間） 10 ヶ月 = 50万・保険料： 10万・その他： 教科書10万合計： 196万 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。(800字～)

ワシントン大学での10か月間は私にとってかけがいのないものとなりました。ここでは主に二つの自分が得たことについて書いていきたいと思います。

#### ・コミュニケーション

すでにワシントン大学で留学を終えた先輩方に口を酸っぱく留学前から英語力の向上に努めておいたほうが良いとアドバイスを受けていました。このことを踏まえて3年の夏休みには英語の自習を行ってから渡航しました。しかし、実際にアメリカに来てからはスラングや会話の速度に苦しめられました。ただ、今となっては英語ができないことによって「伝える」ということの本質を学べたと感じています。何かを自分の中で思いついてそれを伝える時に言語がコミュニケーションの中心になるのは当然ですが、それ以外の部分、例えば、presentationを使う、話し方等を工夫すれば伝わる情報量を落とさずに伝達を行うことができると考えています。象牙取引規制に関する法律に関してグループとしてクラス全員の前で発表する授業では他メンバーはネイティブレベルの英会話者の中、英語力が足りずにうまく意思疎通を図れずに足を引っ張っていました。そこで方向転換をして代わりに視覚情報を使うことでこの問題の解決を図りました。具体的には事前に自分の意見・議論の進度をパワーポイントにまとめて、気持ちを込めて毎回議論の最初5分間でメンバーに提示しました。これでメンバーが自分の意見に興味を持ちってくれる結果、最終プレゼンテーションの投票ではクラス40人中36人の賛同を得ることができました。このような経験を通して物事の伝え方を意識するようになりました。

#### ・経済学

私は経済学部が提供するIFEKプログラムに所属しています。このプログラムは経済学の専門性と留学を通して学ぶ国際性の両輪を重要にしています。だから、留学の一つの目的として経済学の知識の拡充もあり、実際にこの部分について実践できたと感じています。具体的な例を挙げれば、Advanced Econometricsでは機械学習の手法の自分の専門分野である計量経済学への応用に関して学びました。機械学習とはある過程にパターンを見つけ出し、効率化を図るという今話題の人工知能の基礎分野でもあります。これまでの計量経済学は所謂伝統的統計学というものに基づいたものが主流となっていますが、Googleなどを渡り歩いた経済学者のハル・ヴァリンは計量経済学への機械学習の導入を行うべきだと訴えています。この事実を反映する経済学の授業は先進的な姿勢があるアメリカのワシントン大学だからこそ学べたことだと思います。これら学んだ知見を意識して進学予定の経済研究科でよりレベルの高い研究を行っていきたいと思います。

以上二つがこの留学を通して主に学んだことですが、他にも様々な人種の人に会い、文化や背景を学んだことなど書ききれません。是非交換留学プログラムに応募して多くのことを学んで欲しいと思います。

最後に私に交換留学の機会を与え、支えてくださった神戸大学を始めとする方々に感謝を述べさせていただき、この報告書を締めくくらせていただきます。駄文となりましたがお付き合いいただきありがとうございました。